

市議会だより



滝川市議会第1回定例会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
大幅に全体審議日程を縮小し
マスク着用での定例会となりました

● 目 次 ●

主な議案のあらまし	2
議決結果・臨時会の開催	3
新年度予算及び関連議案に対する質疑等	4～8
滝川市議会議員と市民等による意見交換会、 新型コロナウイルス感染症対策について	9
新型コロナウイルス感染症対策に関する質疑、 議会対応	10～11
副議長コラム・議会日誌・編集後記	12

2020.5.1
No.33

議会開会中

第1回定例会

主な議案のあらまし

令和2年第1回定例会は、3月3日から18日までの16日間の日程で開催しました。

本定例会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため審議日程を短縮し、令和2年度市政執行方針等に対する代表質問並びに予算審査特別委員会へ付託することを取りやめました。



なお、市長が行う令和2年度「市政執行方針及び予算大綱」の説明に対しては、本会議で会派等を代表して5人の議員から新年度予算等への質疑が行われました。

そのほか、令和元年度一般会計補正予算などの議案等40件を審議しました。

◎令和2年度各会計予算

各会計の予算額は、一般会計209億7、400万円（前年度比0・4％増）、国民健康保険特別会計45億2、215万円（前年度比3・7％減）、公営住宅事業特別会計5億2、123万円（前年度比36・3％減）、介護保険特別会計40億1、940万円（前年度比2・3％減）、後期高齢者医療特別会計6億5、534万円（前年度比2・9％増）、土地区画整理事業特別会計5、533万円（前年度比29・3％減）、下水道事業会計25億7、017万円（前年度比4・7％減）、病院事業会計79億5、423万円（前年度比0・9％増）で、総額412億7、185万円（前年度比1・3％減）となりました。

◎令和元年度補正予算

一般会計は補正予算（第8号）で

1億9、742万円を増額補正し、補正予算（第9号）で2億7、266万円を増額補正し、総額218億9、779万5千円となりました。そのほか、国民健康保険特別会計は、8、417万1千円を減額補正し、総額46億1、202万1千円に、公営住宅事業特別会計は、534万円増額補正し、総額8億2、416万1千円に、後期高齢者医療特別会計は、1、947万5千円を減額補正し、総額6億1、712万6千円に、病院事業会計は、収益的収入において1億984万4千円を増額補正し、総額69億2、301万1千円となりました。

◎条例の制定等

次のとおり条例の制定、改正、廃止について、原案どおり可決しました。

○滝川市立病院看護師等修学資金貸付条例を制定しました。

○職員の服務の宣誓に関する条例ほか11件の条例の一部を改正しました。

○滝川市奨学金貸付条例を廃止しました。

◎教育委員会委員を任命

任期満了に伴うもので、蜂矢忠

昭さんの任命に同意しました。

◎公平委員会委員を選任

任期満了に伴うもので、森井智江さんの選任に同意しました。

◎固定資産評価審査委員会委員を選任

任期満了に伴うもので、齋藤恵美子さんの選任に同意しました。

◎意見書の送付

新たな過疎対策法の制定に関する要望意見書および中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める要望意見書の2件を可決し、関係機関に送付しました。

◎その他の議案等

そのほか、公の施設の指定管理者の指定について（3件）および市道路線の認定及び廃止について、監査報告について、例月現金出納検査報告についてなど7件の議案等を可決、報告済みとなりました。

◎滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会設置、委員並びに委員長及び副委員長選任

委員長 柴田文男

副委員長 田村勇

委員 三上裕久、山本正信、

寄谷猛男、佐々木和代、安樂良幸、

荒木文一、東元勝己

令和2年第1回定例会議決結果

●令和2年度予算

◎	令和2年度滝川市一般会計予算
◎	令和2年度滝川市国民健康保険特別会計予算
◎	令和2年度滝川市公営住宅事業特別会計予算
◎	令和2年度滝川市介護保険特別会計予算
◎	令和2年度滝川市後期高齢者医療特別会計予算
○	令和2年度滝川市土地区画整理事業特別会計予算 〈反対 寄谷〉
◎	令和2年度滝川市下水道事業会計予算
◎	令和2年度滝川市病院事業会計予算

●条例

◎	滝川市立病院看護師等修学資金貸付条例
◎	職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例
◎	滝川市基金条例の一部を改正する条例
◎	滝川市税条例の一部を改正する条例
◎	滝川市手数料条例及び滝川市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
◎	滝川市民福祉条例の一部を改正する条例
◎	滝川市立保育所条例の一部を改正する条例
◎	滝川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例
◎	滝川市営住宅条例及び滝川市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例
◎	滝川市泉町土地区画整理事業施行条例の一部を改正する条例
◎	滝川市立高等看護学院条例の一部を改正する条例
◎	滝川市奨学金貸付条例を廃止する条例

◎ 全会一致可決 ○ 賛成多数可決 ★ 選任
◇ 全会一致同意 △ 報告承認 ☆ 報告済

●令和元年度補正予算

◎	令和元年度滝川市一般会計補正予算（第8号）
◎	令和元年度滝川市一般会計補正予算（第9号）
◎	令和元年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
◎	令和元年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第2号）
◎	令和元年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
◎	令和元年度滝川市病院事業会計補正予算（第3号）

●その他

◎	公の施設の指定管理者の指定について（航空科学センター）
◎	公の施設の指定管理者の指定について（スポーツセンター等）
◎	公の施設の指定管理者の指定について（石狩川河川敷パークゴルフ場）
◇	教育委員会委員の任命について
◇	公平委員会委員の選任について
◇	固定資産評価審査委員会委員の選任について
◎	市道路線の認定及び廃止について
◎	損害賠償額の決定について
◎	滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会の設置について
★	滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
☆	監査報告について
☆	例月現金出納検査報告について

●意見書

◎	新たな過疎対策法の制定に関する要望意見書
◎	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める要望意見書

第1回臨時会議決結果

◎	令和元年度滝川市一般会計補正予算（第7号）
☆	専決処分について（損害賠償額の決定）

第2回臨時会議決結果

◎	令和2年度滝川市一般会計補正予算（第1号）
◎	工事請負契約の締結について（GIGAスクール整備事業電気設備工事）
△	専決処分について（滝川市税条例等の一部を改正する条例）

令和2年第1回臨時会を1月28日に開催し、令和元年度一般会計補正予算（第7号）ほか1件について審議を行い原案どおり可決、報告済みとなりました。

◎一般会計補正予算（第7号）
ふるさと納税寄附金額の増額見込みに伴い、返礼品等の費用支出のため1億4、907万6千円およびふるさと基金積み立てのため2億92万4千円を増額補正し、総額214億2、771万5千円

第1回臨時会

臨時会の開催

となりました。

◎その他の議案等
車両損傷事故に伴う損害賠償額の決定の1件を報告済みとなりました。

第2回臨時会

令和2年第2回臨時会を4月6日に開催し、令和2年度一般会計補正予算（第1号）ほか2件について審議を行い原案どおり可決、報告承認となりました。

◎一般会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてマスク等を購入する費用1、000万円および図書消毒機を購入する費用277万7千円のほか、飲食店応援たきかわプレミアムチケット発行事業補助金として600万円を増額補正し、総額209億9、277万7千円となりました。

◎その他の議案等

GIGAスクール整備事業電気設備工事請負契約の締結が可決されたほか、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う滝川市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の1件を報告承認しました。

第1回例会 新年度予算及び関連議案 に対する質疑等



会派清新
水口 典一

地方財政計画における普通交付 税の算定内容の改正について

質問 令和2年度の地方財政計画において、普通交付税の算定内容の改正が実施されるが、その詳細について伺う。

答弁 1点目は、新たに地域社会再生事業費が創設され、幅広い施策に取り組むための経費が算入されます。

2点目は、まち・ひと・しごと創生事業費において、算定方法の見直しにより、取り組みの成果に応じた算定にシフトされます。

3点目は、幼児教育・保育の無償化、高等教育の無償化により、地方負担の全額が基準財政需用額に算入されます。

4点目は、森林環境譲与税が創設され、森林整備を一層促進するために拡充されます。

5点目は、会計年度任用職員制度の施行による期末手当の支給に伴う経費の算定で、いずれも7月の普通交付税算定結果に基づいて詳細が判明することになっていきます。

新築住宅助成と住宅改修支援事 業補助金の見直しについて

質問 新築住宅助成事業補助金と住宅改修支援事業補助金の見直しによる影響について伺う。

答弁 新築住宅助成事業補助金は、移住・定住の促進や地域経済活性化を図るため、平成29年度より3年間推進してきました。毎年20件ほどの利用があり、特に子育て世帯の定住促進策として、一定の成果がありました。

住宅改修支援事業補助金は、平成21年度より11年間運用し、多くの皆さんにご利用いただき、確実な実績と耐震向上の促進策に成果がありました。

しかしながら、財源でありました社会資本整備総合交付金率が令和元年度より削減されたことや、第2期財政健全化計画の着実な推進のため、苦渋の決断として一旦

休止させていただくことにしました。

国民健康保険税率の引き下げに ついて

質問 国民健康保険税率の引き下げについて慎重に検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 平成30年度からの都道府県化により、北海道への納付金の不足分と累積赤字解消分と合わせて保険税率を引き上げました。その後、収支状況が改善し累積赤字を解消することができ、今のところ引き下げても黒字を維持できる見込みとなったことから令和2年度から赤字解消相当分のみ引き下げします。

今後とも安定した会計運営に努めていきます。

外来診療の機能分化の推進につ いて

質問 令和2年度の診療報酬改定により、特定機能病院および地域医療支援病院において、紹介状なしで一定規模以上の病院を受診した場合に、医療費とは別に定額の追加料金を徴収する制度が病床数

400床以上から200床以上に拡大されるとの報道があったが、滝川市立病院は該当するのかわかるか。

答弁 当院は、地域医療支援病院の基準である紹介率に達していないため該当しませんので、追加料金を徴収する病院とはなりません。

滝川市立病院看護師等修学資金 貸付条例について

質問 償還の免除における全額免除の場合、規則で定める勤務期間について伺う。

答弁 勤務期間は5年に達したところで全額免除を考えており、5年に達しなくても一定年数で一部を免除することで考えています。

5年と設定したのは、看護職が新規就労後3年をサイクルで退職をして、他の医療機関を志すことが一般的になっており、3年の壁を越えてもらいたいという趣旨であります。

修学資金貸付制度や奨学金制度は、他の自治体や法人の制度もいろいろ選択できますので、5年是他の制度とのバランスを考慮した場合、設定し得る最大の年数と認識しているところです。



新政会
田村 勇

集団資源回収奨励金について

【質問】 集団資源回収奨励金321万8千円の積算根拠および現状の把握はどうしているのか、また奨励金の増額を考えているか伺う。

【答弁】 集団資源回収奨励金の予算については、過去の回収量実績をもとに1kg当たり2円の単価を乗じて積算しています。

多くの町内会などで集団資源回収に積極的に取り組んでいただいています。人口減少やごみ減量化の取り組みにより資源回収量が毎年前年比で2%から4%の減少が続いています。資源ごみの回収のうち半分以上が集団資源回収となっています。

集団資源回収奨励金は、町内会を通じてリサイクル循環型社会の推進だけでなく、活動団体の貴重な財源となっており、重要な取り組みと認識しています。

今後もこの事業は大切と認識していることから、継続していただ

くよう限られた予算内ではあります。積算方法の見直しについて考えていきます。

【質問】 町内会の高齢化が進み集団資源回収をやめる町内会も出てきている。現在、町内会で50%以上の集団資源回収を行っているとい

うことであれば、今後集団資源回収奨励金の単価を値上げする考えはないのか伺う。

【答弁】 やむを得ず集団資源回収をやめられる町内会は、学校のPTAの取り組みの中で共同で実施できないか働きかけをしています。

また、単価アップについては、限られた予算の中ですが、奨励金の在り方を今年度中に考えていきたいと思っています。

【質問】 すべての町内会が集団資源回収をやめて、行政が行った場合の差額はいくらかを伺う。

【答弁】 現在、収集業者へ年間約4、000万円で資源回収を委託し、3行程（3台）で行っています。すべてを巡回収集に移行した場合に何台収集車が増えるかは分かりませんが、1台につき約1、300万円の増額になります。

一方で減額になるのは、町内会

への資源回収奨励金と再生資源組合の町内会収集委託料を合わせて約600万円と認識しています。

シルバー人材センター運営費補助金について

【質問】 労働行政に要する経費のシルバー人材センター運営費補助金803万円の積算根拠を伺う。

【答弁】 公益社団法人滝川市シルバー人材センターへの補助金については、国が市と同額の補助を行うことになっており、厚生労働省が示す補助限度額基準が運営費と事業費でそれぞれ決められています。

運営費については、厚生労働省が示す補助上限額533万9千円であり、同額を補助額としています。

事業費については、高齢者活用現役世代雇用サポート事業に対する派遣事業の補助対象経費の人件費を精査し、269万1千円を補助額としており、合計803万円となっています。

【質問】 補助金は、会員数の増減の影響があるのかを伺う。また、理事長および事務局長は市から定年退職後に行っているが、この任命

権者は誰になるのかを伺う。

【答弁】 積算根拠として、平均会員数と平均就業延人数でAからCまでのランクにより補助単価額が決まっており、ランク分けには会員数の増減が影響しています。また、理事長・事務局長は市からのOBという事実は把握していますが、任命は理事会や総会で決定されたものと認識しています。

公園管理費について

【質問】 公園の管理等委託料2、844万3千円のうち町内会を除いた公園委託件数および管理料、また町内会の委託管理料の積算根拠を伺う。

【答弁】 公園等管理委託料により、町内会に草刈りなどをお願いしている45か所の街区公園を除き、面積が広い河川敷地や東公園など、大規模な18か所の公園の草刈りと春先や降雪前の遊具の据付・撤去を行っています。

町内会への管理料については報償費として支出しており、新年度予算では63万7千円であり、各公園の管理面積に基づいて積算しています。



会派みどり
渡邊 龍之

固定資産税について

【質問】 滞納繰越分の調定見込み額3億1,322万5千円における滞納者（社）の件数と収入見込率8・5%について伺う。

【答弁】 予算積算時に税目ごとに現年分、滞納繰越分それぞれについて、その時点における調定額と前年度決算の収納率を勘案して収納見込み額を算出し、そこから不納欠損処分見込み額を差し引いて算出しています。滞納者の件数ではなく調定額総額、収納見込み額総額で計算しているため、件数については勘案していません。収入見込率が他の税目と比べて低いのは、市道民税や国民健康保険税が所得に応じて税額を算出するのに対し、固定資産税は所有する資産の価値により税額を算出していることも要因と考えられます。

行財政改革の推進について

【質問】 滝川市立病院経営改善計画

実施委託料で2,076万8千円を計上しているが、すでに改善計画では令和2年に実施すべき内容が示されている。委託業務の内容は、具体的にどこに集中して改善に結び付けるのか伺う。

【答弁】 看護師の確保、業務改善・タスクシフティングに向けた取り組みの推進、新規入院患者の減少対策として地域の開業医との連携強化、救急受け入れの強化、地域の介護事業者などとの連携強化に重点を置き、患者さんを紹介してもらう仕組みを再構築することで医業収益の向上を図ろうとするものです。また、効率的な病床運営に向けた仕組みづくり、経営管理の仕組みも同時に構築していくことで、将来に渡り市民の期待に応え、地域の中核病院として安定的な医療を提供できるよう市役所・市立病院・計画策定事業者が連携して経営改善に努めていきます。

たきかわ観光国際スクエアの運営管理について

【質問】 国際交流の拠点として、外国人観光客の対応に具体的な事業の予定はあるのか。栄町3-3地区

活性化との結び付けの考えと、外国人に対するアンケート調査を行う考えについて伺う。

【答弁】 観光部門としては、観光案内、インバウンド観光の推進、JR・バス利用者への情報発信強化、観光資源を学ぶ講座やワークショップの開催、特産・土産品紹介などを検討しています。

国際部門としては、多文化共生の理解促進のための講演や研修会の開催、国際交流イベント、語学講座、外国人相談窓口、国際協力・交流に関するパネル展示などを検討しています。

3-3地区活性化については、当施設を市の玄関口として位置づけ、ここできざまな情報を得て少しでも長く時間を過ごしていただくことを想定した取り組みを進めていきます。施設敷地を活用したイベント開催も検討を進め、3地区に限らず中心市街地の活性化の一助にも繋がると考えています。アンケート調査の実施では、菜の花まつりでの調査に加え、他の催事やイベントでの情報収集など更なる取り組みを進めていきます。

会計年度任用職員について

【質問】 令和2年度より会計年度任用職員252人分の人件費3億9,923万7千円を計上しています。が、予算編成時における各所管からの要望人数は何人か。予算決定においては、各課の業務量、職員の適正数についての精査は行われたのか。また、雇用期間は、1年ごとの更新となるのか伺う。

【答弁】 制度の導入にあたっては、地方公務員法などの改正の趣旨に則し市民サービスの低下を招かぬよう必要な人員の確保に努めるとともに、効率的な行政運営ができる組織づくりを前提として、予算編成までの過程において各所属に対して任用状況の調査を行いました。そして、実態を把握したのち、所属長とのヒヤリングを行うなど十分に協議、調整を重ねたうえで予算編成を行いましたので、各所属の要望については反映されていると考えています。

任用期間については、地方公務員法の定めにより最大1年となっており、1年ごとの任用を繰り返していくことになります。



公明党
三上 裕久

滝川国際交流協会の補助金について

質問 協会への補助金の積算根拠およびどの事業に対する補助金なのかを伺う。

答弁 米国スプリングフィールド市へ中高生を派遣する国際交流事業など、4事業の管理運営の人件費などに補助しています。

質問 これまでに蓄えた協会の基金を削りながら補助金なしで事業運営を行うことについて、今までに協会と交渉した経緯があるのかを伺う。

答弁 今までに交渉した経緯はありませんが、今後においては、協会が自主自立性を高めた運営ができるように考えています。

財政改革の推進について

質問 滝川市立病院経営改善計画実施業務の委託料の継続理由を伺う。

答弁 昨年2月に滝川市立病院の

経営分析支援業務の企画提案を募集した際に経営改善計画の策定だけでなく、次年度以降の計画実行の進捗管理やスタッフの調整などプロジェクトを実施するための支援業務も委託したためです。

質問 経営改善計画でやることは、はつきりしている。問題は、事業運営会議で決定した事項が全スタッフに指示徹底されてこなかったことであると考えるが、見解を伺う。

答弁 本事業の実施について、市役所・市立病院が一体となって取り組む最重要課題であり、コンサルタントの力を借りて、この取り組みを定着させ改善への軌道に乗せたいと考えています。

職員の人件費について

質問 3月末退職者と令和2年度新規職員採用者との職員費の差額を伺う。

答弁 予算ベースの比較で4、600万円となります。

質問 毎年度、職員の新規採用をする根拠を伺う。

答弁 地方公務員法の任用の逐条解説などに明記されておりますが、行政サービスの低下を招かないよ

う定年退職などで発生する欠員を補充し、また、資格を必要とする業務などに対応するために新規採用を行っていると思います。仮に採用を行わなければ、欠員が埋まらないばかりか、職員の年齢構成に隔たりが発生することが予想されます。

質問 市の財政が厳しい時期に11人の方が退職され、新年度に11人を採用される。先ほど差額が4、600万円になるということだったが、今後数年間、新規採用を行わないことで差額はもっと大きくなるかと考えるが、見解を伺う。

答弁 あくまでも欠員に対して採用を行うとともに、今後の資格を必要とする業務などを勘案しながら適正な職員数を配置するという基本は変わりません。市民サービスの低下を招かないよう適正な職員数に努めています。今後においても行政サービスに見合う適正な組織・人員体制を心がけていきます。

質問 令和2年度の超過勤務手当予算は、各部・課からの要望などによっての積算なのかを伺う。

答弁 各費目に職員の給与の総額に一定の割合を乗じて積算してい

ます。

質問 本来、部・課で業務量が違うはずだが、各業務量に見合った積算であるべきと考えるが伺う。

答弁 職場の業務量に応じて年6%だとか、年10%だとかメリハリをつけて積算しており、超過勤務手当の縮減についても勤務時間の変更や振り替え休日を取ってもらうなど、超過勤務とならないよう努めています。

質問 これだけ財政が厳しくなってくると、職員の皆さんは、また自分たちの給与が減らされると考え、やる気をなくすと思う。数年間は、新規採用を見合わせようと考えなかったのか伺う。

答弁 市役所という組織のことを考えたときに人材が非常に大切であり、しっかりと人を育てていくことが市民サービスを維持し、向上することにつながると考えています。

職員の皆さんにとっては、給与削減となるとモチベーションが下がるという懸念もありますが、別な方法でモチベーションが下がらないよう考えて努力していきます。給与削減ありきではありません。



日本共産党
寄谷 猛男

保育所の運営について

質問 市内5か所の保育所の新年度入所予定数は定員より40人多い入所が予定されているが、受け入れにあたりスタッフは充足しているのか、保育の質は維持できるのか伺う。

答弁 保育所の受け入れは、定員の120%まで入所可能です。各年齢により必要とされる保育士の数が異なりますが、常勤職員、非常勤職員で年齢ごとの入所人数に応じた規定の人数を確保しており、保育の質は維持していけると考えています。

質問 新しい二の坂保育所の運営を滝川市社会福祉事業団が担うことで、公立は中央保育所だけとなる。保育所運営は、将来的に社会福祉事業団に一本化するのはか何う。

答弁 中央保育所は公立の保育所として、例えば障がいのあるお子さん、より注意を要するお子さん

をお預かりするような調整的な役割を担っています。しかし、市内保育所で最も古いのが中央保育所ですので、将来的に児童数の減少が見込まれる中、児童数の推移、保育所の入所見込みの推移に応じて中央保育所の役割については、再度見直さなければならぬと考えています。

教職員の長時間勤務改善について

質問 新年度は各自自治体で教職員の長時間勤務改善に向けて「1年単位の変形労働時間制」導入の是非が審議される。教職員の負担軽減を図ろうとする一方で、新たに外国語教育やプログラミング教育などに関わるスキルアップが求められる。教職員の抱えている業務を減らすため、どのような方策を講じるのか伺う。

答弁 学校現場における教職員の負担軽減策としてソフト面とハード面、その両方で予算措置をしています。

ソフト面では、学びサポーターや特別支援学級支援員が挙げられます。学びサポーターは、普通学

級において教師が進める授業に加わり児童生徒の習熟度など個々の状況に合わせた形での授業の補助、いじめや不登校問題に対する支援指導を行います。また、特別支援学級支援については自閉症、情緒障害学級、肢体不自由学級において児童生徒の学校生活の支援・介助などを行います。

ハード面での負担軽減策としては、市内の全小・中学校に導入している校務支援システムが挙げられます。出席簿や通知表、指導要録などの帳票管理業務の軽減が期待できます。また、掲示板機能の活用により会議時間の短縮も期待できます。

連携事業の支援について

質問 農業分野への進出や特産品の販路拡大などを支援する制度の利用希望者は年に数件にとどまる

としているが、新たな事業を軌道に乗せるのは容易ではなく躊躇しているからではないのか。意欲的な取り組みを支援し地域振興を図ろうとするなら、制度の利用希望者を掘り起こす積極的な取り組みが必要ではないのか。新年度の予

算規模は小さいのではないのか、見解を伺う。

答弁 6次産業化などの農業関連分野への進出や特産品の販路拡大への支援については、各企業が抱える課題やニーズの把握を行いながら事業展開に応じた支援に努めています。

農商工連携などの新たな取り組みに関わる事業、地場産品のブランド化や販路拡大に関わる事業、商品開発などの産業振興や経済活性化につながる事業を対象に助成制度の運用を行い、めん羊牧場の開設、サツマイモを使用した商品開発、農産物を使用したジェラート店の開店などに活用いただいています。これまでの応募状況を踏まえると、現時点では適正な予算規模になっていると考えています。

次年度においても意欲あふれる事業者の取り組みに対し、重点的に支援を行えるよう助成金制度を運用するとともに、市公式ホームページ、広報たきかわ、協議会構成団体などを通して積極的にPRを行い、新たな取り組みに対する支援を行います。

滝川市議会議員と市民等による意見交換会

滝川市議会では、議会改革の一環として平成29年度に市政の課題

解決および施策の推進にあたり、市民および各種団体の皆さんとの対話を通じて、いただいたご意見を市政に反映させるため「滝川市議会議員と市民等による意見交換会」を実施することとし、総務文教常任委員会、厚生常任委員会および経済建設常任委員会3常任委員会がそれぞれの調査事項に基づき開催しています。

令和元年度に開催した意見交換会は次のとおりです。

厚生常任委員会

①令和元年

11月15日に

滝川地区認

知症の人と

共に歩む家

族の会「あ

けほの会」

の皆さんと

日常生活の中で認知症介護で困っていることなどについて意見交換



を行いました。

②令和2年1月14日に滝川市老人クラブ連合会の皆さんと高齢者を取り巻く課題（認知症・孤独死）、老人クラブの現状と課題についてをテーマに行いました。

経済建設常任委員会

令和元年11月14日に一般社団法人滝川青年会議所の皆さんと「こ

れからの滝川がとるべきインバウンド対策」

および「未

来を担う次

世代を育て

るために必

要なこと」

をテーマに

意見交換を

行いました。



総務文教常任委員会

令和2年2月下旬に開催を予定していましたが、今回の新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期しました。

常任委員会委員紹介

(令和2年4月現在)

■総務文教常任委員会 (10人)

委員長 安樂良幸

副委員長 東元勝己

委員 堀重雄、山口清悦、

渡邊龍之、寄谷猛男、佐々木和代、

本間保昭、柴田文男、荒木文一

■厚生常任委員会 (10人)

委員長 三上裕久

副委員長 佐々木和代

委員 堀重雄、木下八重子、

山口清悦、山本正信、安樂良幸、

新型コロナウイルス感染症対策について

第1回定例会では、市長から新型コロナウイルス感染症対策について行政報告がありました。

まず、本会議初日である3日には、市役所内に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置するとともに、市主催のイベントや会合等の中止・延期、一部の公共施設の稼働休止、小・中学校の臨時休業などについて報告がありました。

また、本会議最終日である18日には、学校の休業措置を踏まえ、学童保育を再開したことや、分散登

田村勇、水口典一、東元勝己

■経済建設常任委員会 (10人)

委員長 荒木文一

副委員長 山本正信

委員 三上裕久、木下八重子、

渡邊龍之、寄谷猛男、本間保昭、

田村勇、柴田文男、水口典一

今後市民の皆さんと意見交換会を行いながら、寄せられたご意見をこれからの市政に反映させる努力を続けていきたいと思っています。よろしく願います。

校の実施などについて報告があったほか、卒業式における保護者の参加制限措置について理解と協力を求めるお願いがあったところで

す。加えて、関係団体から国や北海道に対する資金繰り支援の拡充や消費喚起策などの要望があったことから、具体的な対策を検討していくとともに、市民の皆さんに適切な情報を届け、安全・安心の確保につながるとの発言がありました。

主な新型コロナウイルス感染症対策関連質疑について

◎柴田議員

・北海道から出された臨時休校・分散登校などの教育関連情報の発信と伝達について

【答弁】 昨日全道の教育長を対象にテレビ会議が行われ、主に分散登校日について意見交換されました。趣旨は理解するものの、学校の規模、時期などが異なることや、併せて儀式についても情報が遅いとの意見が出されていました。道としても今後最善の努力により、一刻でも早く通知するとの回答を得たところです。市としてもさまざまな対策を考えつつ、迅速な対応に努めていきます。

・中学生の外出制限について

【答弁】 不要不急の外出を控え、人混みを避けるよう指導しています。どうしても外出する際は、マスクの着用、時間をずらすなどの対応をしていただきとを考えています。

◎三上議員

・北海道知事の「非常事態宣言」を受けて地域産業への影響について

【答弁】 国による対策が見えていな

い状況であるため、まずは情報収集に努め、事業者に対し何を早期に優先すべきか判断をしていきたいと考えています。

・学童クラブによる使用で、ほかの団体がコミュニティセンターを使用できない現状について

【答弁】 コミュニティセンターを閉鎖していることで、学童保育ではほかのスペースも使用することができています。当面3月末までとしていますが、早期の再開を目指していきたいと考えています。

◎安樂議員

・市職員への感染予防の周知徹底および市職員が感染した場合の対応について

【答弁】 職員に対しては、健康管理に努め、イベント参加の自粛、マスクの着用や手洗いの徹底などを呼びかけたほか、執務室の清掃消毒の協力をお願いしています。また、所管する事務分掌などを参考に優先業務の選定、対応手順などについてあらかじめ準備するよう指示しています。

◎山口議員

・飲食店などお店を潰さないためには資金が必要であり、スピード感を持った対策の考えについて

【答弁】 相談窓口を設け、現状の把握に努めています。市独自の融資制度とセーフティネット保証を同時に使えることも分かりました。今後は、既存の制度を駆使して対応していきます。

◎寄谷議員

・家庭訪問などによる子どもたちの状況把握について

【答弁】 分散登校により子どもたちの健康状態の把握を行っています。家庭訪問については、できるだけ避けるようにとの北海道の通知もあることから、必要なものは自宅の郵便受けに投函するなどして対応しています。

◎本間議員

・融資などの相談状況および飲食店などに対する細やかな周知方法について

【答弁】 制度の周知は行っていますが、提供される情報も日々刻々と内容が変遷してきています。報道の後に周知文が届くこともありませんが、事業者への周知は今後も努

力を続けていく考えです。

◎渡邊議員

・各種申請や、異動時期を迎える市民課などの窓口対応について

【答弁】 国から申請時期延長の指示を受けているほか、待合のいすの間隔をあけて配置するなどの対応をしています。転入転出の届け出についても、マイナンバーで対応できることをお伝えしています。

◎荒木議員

・イベントなどの延期について

【答弁】 タイミングを誤って感染拡大につながらないよう、国や北海道の判断も見極めて対応していきます。

◎佐々木議員

・医療崩壊につながるため今後の対応について

【答弁】 患者の集中による医療崩壊を回避するためには、近郊の公立病院などで軽度の患者を受け入れる必要があり、具体的な方策の検討が求められています。また、一般の患者さんに安心して診療を受けてもらうため、発熱がある方は総合受付に申し出てもらい、一般の方とは別の救急の動線で診療を行っています。

滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会の設置について

目的

新型コロナウイルス感染症の国内での感染が増加する中、滝川市においても感染が確認され、保健医療、経済、教育など市民生活への影響が多岐に渡り甚大な被害が懸念されることから、市議会としても市の新型コロナウイルス感染症対策を調査し、迅速に対応していくため設置しました。

委員の構成

調査項目が多岐に渡るため、総務文教常任委員会、厚生常任委員会、経済建設常任委員会、議会運営委員会の正副委員長とし、また、すべての議員が共通認識にあることが必要のため、会派に属していない議員も委員としました。



▲3月30日、第1回特別委員会を開催

議会での新型コロナウイルス感染防止対応について

令和2年 第1回定例会全体審議日程（変更前）

日程	月日	曜日	審 議 事 項
1	3. 3	火	1 会期決定 2 議長報告 3 行政報告 4 市政執行方針及び予算大綱、教育行政執行方針、予算関連議案説明
2	3. 4	水	1 補正予算及び関連議案 2 予算外単独議案
3	3. 5	木	休 会
4	3. 6	金	休 会（議会運営委員会）
5	3. 7	土	休 会
6	3. 8	日	休 会
7	3. 9	月	休 会
8	3.10	火	休 会
9	3.11	水	市政執行方針等に対する代表質問
10	3.12	木	1 市政執行方針等に対する代表質問 2 市政執行方針等に対する質問 3 予算審査特別委員会設置付託
11	3.13	金	休 会（予算審査特別委員会）
12	3.14	土	休 会
13	3.15	日	休 会
14	3.16	月	休 会（予算審査特別委員会）
15	3.17	火	休 会（予算審査特別委員会）（議会運営委員会）
16	3.18	水	休 会（予算審査特別委員会 予備日）
17	3.19	木	1 予算審査特別委員長の付託事件審査報告 2 追加議案 3 監査報告 4 例月現金出納検査報告 5 意見書等 6 閉会中継続調査等の付託

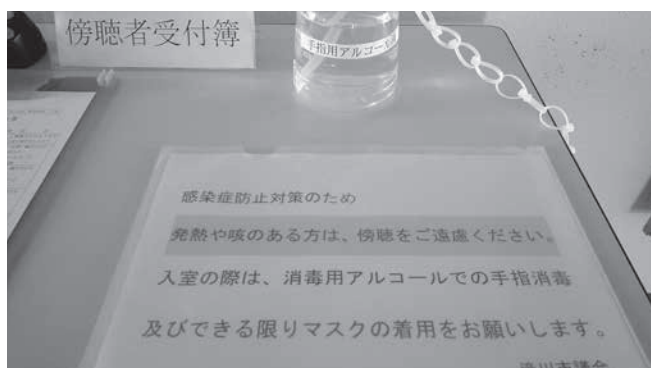
令和2年 第1回定例会全体審議日程（変更後）

日程	月日	曜日	審 議 事 項
1	3. 3	火	1 会期決定 2 議長報告 3 行政報告 4 市政執行方針及び予算大綱、教育行政執行方針、予算関連議案説明 5 補正予算及び関連議案 6 予算外単独議案
2	3. 4	水	休 会
3	3. 5	木	休 会
4	3. 6	金	休 会
5	3. 7	土	休 会
6	3. 8	日	休 会
7	3. 9	月	休 会
8	3.10	火	休 会
9	3.11	水	休 会
10	3.12	木	休 会
11	3.13	金	休 会
12	3.14	土	休 会
13	3.15	日	休 会
14	3.16	月	休 会
15	3.17	火	休 会（議会運営委員会）
16	3.18	水	1 新年度予算及び関連議案に対する質疑、討論、採決 2 追加議案 3 監査報告 4 例月現金出納検査報告 5 意見書等 6 閉会中継続調査等の付託

旧

審議日程変更

新



▲傍聴席の入口に手指消毒用アルコールを準備し、入室の際は可能な限りマスクの着用をお願いします。



▲使用前後に議場および会議室の消毒作業を行いました。

副議長コラム

新型コロナウイルス感染症対策に関する議会対応について



新型コロナウイルスが猛威を振るっています。このコラムを書いている今日（4月7日）にも政府は緊急事態宣言を発令し、感染拡大を防ぐために外出自粛などの要請を徹底するものとみられます。

滝川市議会では新型コロナウイルスへの対応策として、3月定例会を変則で実施したのをはじめ、3月18日付けで「新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会」を設置しました。委員会では市からの報告をもとに市民意見を反映し、インターネット録画配信により正確な情報を速やかに提供することを目的として議論を重ねています。今後は政府による緊急経済対策が打ち出され、地方自治体の役割も示されていくものと思われます。我々市議会も市と一体となつて、日常生活や経済面で苦境に立つ市民の皆さんに対し、迅速な対応の推進力となるよう決意を新たにしているところです。

滝川市議会副議長

本間 保昭

議会目誌 (令和2年1月1日～令和2年4月8日)

1. 7	第6回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。	2. 26	第12回議会運営委員会を開催した。
1. 10	第7回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。	3. 2	第13回議会運営委員会を開催した。
1. 14	厚生常任委員会と滝川市老人クラブ連合会との意見交換会を実施した。	3. 3 ～18	第1回市議会定例会を開催した。
1. 17	第6回総務文教常任委員会を開催した。	3. 17	第14回議会運営委員会を開催した。
1. 22	第11回議会運営委員会を開催した。	3. 17	第8回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。
1. 24 ～26	第58回名護さくら祭り及び第46代名護さくらの女王発表祝賀会に出席のため、副議長が沖縄県名護市に出張した。	3. 30	第1回滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を開催した。
1. 28	第1回市議会臨時会を開催した。	4. 2	第2回滝川市新型コロナウイルス感染症等対策特別委員会を開催した。
2. 17	第1回市議会全員協議会を開催した。	4. 3	第15回議会運営委員会を開催した。
2. 20	第7回厚生常任委員会を開催した。	4. 6	第2回市議会臨時会を開催した。
2. 20	第7回経済建設常任委員会を開催した。	4. 8	第9回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。
2. 21	第7回総務文教常任委員会を開催した。		

編集後記

私の好きな言葉「なせば成るなさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」。どんなことでも強い意志を持ってやれば必ず成就すると言う意味です。新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う大きな困難を前に、ワンチームになり乗り越えたいと思います。

■たきかわ市議会だより編集委員会

委員長 渡邊 龍之
副委員長 寄谷 猛男
委員 三上 裕久
佐々木 和代
水口 典一

発行責任者 滝川市議会議長 関藤 龍也

傍聴してみませんか

令和2年第2回滝川市議会定例会の開催予定日をお知らせします。

日程

6月16日(火) 本会議

6月22日(月) 本会議 一般質問

6月23日(火) 本会議 一般質問等

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048